



広報

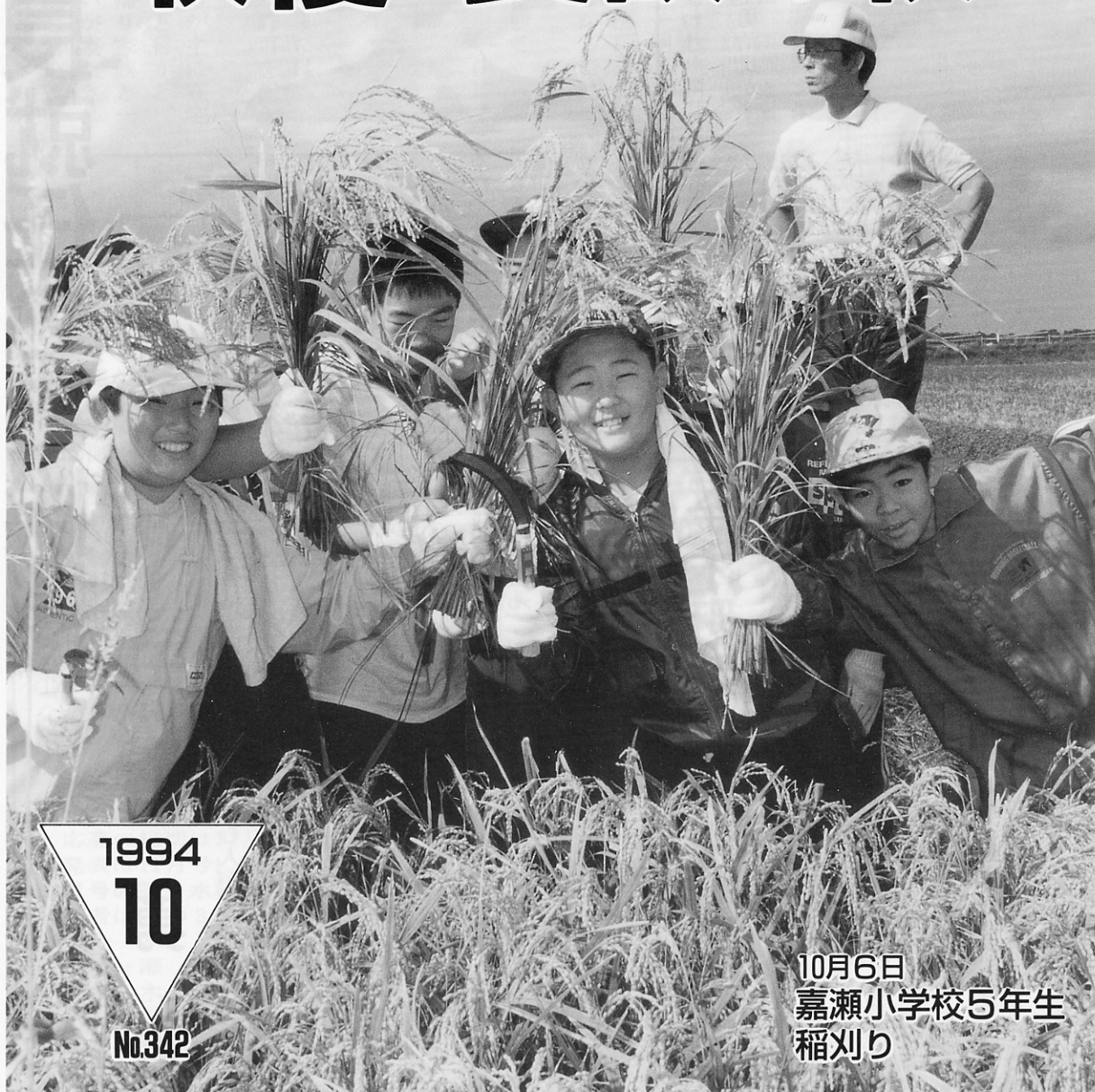
かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240

収穫・食欲の秋



1994
10

No.342

10月6日
嘉瀬小学校5年生
稲刈り

金木町長に 田中勇治氏再選

町長就任のご挨拶

金木町長 田中勇治



町民の皆様にご挨拶申し上げます。

このたび、町民皆様の力強いご支援を賜り引き続き、町長に就任させていただきました、ありがとうございます。

この四年間、町活性化を図るため、経済の低成長下にあるながらも積極財政を基本方針に掲げ、芦野公園整備、運動公園の建設、各地域にコミユニティセンター（集会所）

の建設、生活道路の整備、また農業生産施設の整備などに取り組み、順調に進展を続けてまいることができました。

これもひとえに町民皆様のご理解、ご協力があったからこそであり、心から感謝申し上げます。

これからも、町民皆様の尊い信頼にこたえるためにも、精一杯頑張る覚悟であります。町民福祉の充実を基礎に、

住む人が生活を楽しめ、町民の生活そのものが向上するよう、健康で豊かな住みよい町の実現に向かって、まだまだ課題はあり、金木町の発展に向け、更なる前進を図らなければなりません。

どうか、今後とも町民皆様の格別のお力添いをいただきますよう、お願い申し上げます。して就任のご挨拶といたします。

十月二日に行なわれた町長

選において、田中勇治氏が十

四年ぶりの二期連続当選を果

たしました。

開票結果は、次のとおりで

す。

当選 田中勇治 五、七二六

大橋忠勝 二、三三五

選挙当日の有権者数

九、八六二

投票者数

八、一〇九

有効投票

八、〇六一

無効投票

四十八

持ち帰り

二

投票率

八二、二四%



金木町議補選に無投票で

加藤 磐氏 当選

九月二十七日、町長選挙と

同時に告示された町議会補欠選挙に加藤磐氏が届け出ましたが、他に立候補者がなく無投票で当選が決まりました。

◎職業 農業

◎最終学校 北海道酪農大

首都圏に「ふるさとかなぎ会」

結成

!!

九月十一日、東京・上野の『精養軒』を会場に、首都圏で活躍中の金木出身者、約百人が出席し「ふるさとかなぎ会」の設立総会が行なわれました。

「ふるさとかなぎ会」は、金木出身者が親睦・交流を深め、故郷の限らない発展に協力したいということから、金木出身で東京県人会副会長を務める津島義雄さんらの呼びかけで結成されました。



田中町長からのお祝いの言葉



カンパニー



員も駆けつけ田中町長は、「一日も早い設立を望んでいます。町づくりに会員の皆様の指導を賜りたい。」と祝福しました。このほか、鍋谷欣市東京県人会長、金木町生まれの作家・太宰治の長女、津島園子さんが祝辞を述べました。会場では、参加者らの津軽弁があちらこちらで飛び交う中、終始和やかな設立総会となり、町と会のメンバーの絆を一層深めることを確認。役員の選出により、会長には、津島義雄、副会長には、

坂本勘一、加藤一治、ハギギ志雅子、理事には、棟方昇弘、田中憲伸、藤井勉、三浦寛、伊藤正紀、高杉利彦、加藤剛、津島晴雄、奈良威、田中憲雅、黒川弘幸、六波羅光弘、荒井隆、長尾修一、山岸平昌、角田義晃、工藤源次郎、丹場雄博の各氏が選出されました。続いて交流会では、金木町関連ビデオの観賞をしながら昔話しや近況報告に花を咲かせていました。

会長津島義雄氏
発足のあいさつ



「ふるさとかなぎ会」をつくるというお話しがあった時は、ただうれしくなり、わけのわからない興奮をしていました。

東京青森県人会の活動をして以来、他の市町村が独自の会をつくり、盛んになっていくのをこの目で見てきた自分にとって、うらやましく思っていた時期であり、一も二もなく参加させて頂きました。

ふるさとを離れ四十年近い歳月が流れ、良きにつけ悪きにつけ忘れられない金木です。

小さい頃、貧しい家庭に生まれ育ち、楽しい思い出など探そうにもありません。でも

そんなものはとつとくに消えていてただ懐かしい、そして妙に胸がかきたてられるものがあります。ふるさととは、そんなありがたいものなのでしょう。そして「ふるさとのある自分は本当に幸せ」そんな思いにかられる昨今です。

ありあまる愛情をくれた両親が永眠するふるさとであります。忘れられるはずがありません。そのふるさとに東京で生まれ育った子供、孫にどうしてふるさとに接点をもたせようか、いつもそんな事を考えています。青森県人であることにいつも誇りに持つております。

私達がふるさと金木にいくらでも何らかのお役に立てればと思ひ参加させて頂きました。

会員皆様と良く相談して立派な会になるよう「ふるさと金木」のいくらかのお役に立てるよう精進したいと思っております。

「神奈川県立東金沢高校」農業体験修学旅行 三泊三日 金木の農家にホームステイ



十月五日〜七日、神奈川県立東金沢高校の二年生百六十九名が、金木町の農家四十四軒に「農業体験修学旅行」で二泊三日のホームステイを行ないました。

今回の受入れは、一年ほど前に学校側からの要請があり、受入れ体制を整えていました。特に、一町で百六十九名の大型受入れは県内では初めてのケースです。

入村式では、中谷肇さんが、受入れ農家を代表して「主食である米がどのように生産されているのか体験して下さい。心から歓迎しています。」と挨拶。生徒代表の小原高志君は「農作業は始めてです。失礼

があるかもしれませんがピシビシ指導して下さい。」と述べました。

その後、生徒たちはステイ先の農家の方と対面。お互いに「よろしく」と挨拶を交し、各受け入れ農家へ三〜四人のグループに別られました。

修学旅行に農業体験を組み入れた「農業体験修学旅行」は、県立東金沢高校生徒の多くが新興住宅地や、工業団地の埋め立て地にできたマンモス団地に居住しているということ、都市の消費生活にひたきっている生徒に、農業生活・諸作業・生産者とのふれあいを通して、少しでも生産者としての農家の実情を知ってもらおうと、行なわれたものです。

写真は、ある生徒三人の十月五日から七日までの「農業体験」の記録です。



「仕事の後は一段とおいしい」



10月5日「入村式」。受け入れ農家に挨拶



10月6日今日は早起きしてお手伝い。



私達が刈り取った稲とパチリ



初めての稲刈りは「とっても楽しい」

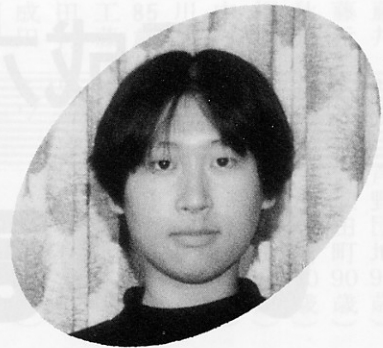




2年10組 佐藤 江利



2年10組 中村 香



2年10組 松本あゆみ

農業体験を終えて

農業体験を通して感じたことは、最近では、農家も機械化されているといわれます。でも、人の手がなければ作業が進まないことを知りました。そして、農作業をしたことのない私達には、少しの作業さえもとても重労働に感じました。

毎日、何気無く食べているお米ですが、これを機会にお米をつくるのがどんなに大変なことか、時々思い出すでしょう。

農作業も楽しかったし、金木町へ来てよかった。

農作業の体験学習

修学旅行で農家のお宅に泊まると聞いたとき、正直にいうと「なんでせっかくの旅行なのに農家のお宅に泊まるんだろう」と思いました。先生方は、「旅行から帰って来たら「行ってよかった、楽しかった」って言うぞ」と、おっしゃっていましたが、「気やすめだ」と思っていました。それが、いきなり農家の方達に歓迎され私達の不安が無駄だということが分かりました。こんな楽しい修学旅行なら後輩達にも体験させてあげたいです。

農業体験ツアー

この修学旅行を出発してから、農業体験の事が気になり、気が重い状態でした。

しかし、農業体験で『刈り取り』『脱穀』『精米』等を体験させていただいたと同時に、農家の人とのふれあいを通してこの旅は、何よりも思い出に残る楽しい二泊三日の修学旅行となりました。

そして、金木町のお米や私の嫌いな野菜がおいしかったです。



10月7日三人そろって「お世話になりました」



乾燥機に米が入っていくんだ



ちょっと一服。「おやつもあるの?」



農家を後にする三人



10月6日農家の方とは、最後の夜。



涙の別れが...



自分達の手作りのおにぎりでお昼



平成六年度 敬老大会

いつまでも元気で

九十歳以上の長寿者35人

長年にわたり社会のため貢献された方々の長寿を祝し、これを顕彰するとともに、本大会を契機に明るく健やかな老後を築くことにつとめる誓いを新たにすため、九月一日、中央公民館で平成六年度金木町敬老大会が行われました。

大会では、長年社会のために貢献された物故者への黙祷をし、県顕彰状、町顕彰状の贈呈が行われました。この後、小学生による作文朗読では、お年寄りは嬉しそうに聞き入っていました。引き続き「扇謡会」による手踊りや歌謡ショーが披露さ



れ、この日集まったお年寄り五百五十人は、盛大な拍手を送っていました。

※顕彰受賞者は次のとおり。県顕彰受賞者

90歳に達した長寿者

- 天坂 イヨ (湯の川)
- 白川 夕子 (蒔田)
- 角田 こと (小川町)
- 白川 ヒデ (湯の川)
- 棟方おりよ (野崎)
- 藤田 傳吉 (湯の川)
- 山形茂之進 (栄町)
- 木村 みせ (上古町)
- 工藤 サタ (上小栗崎)
- 工藤 キヨ (神明町)
- 沢田 しな (見晴町)
- 田中 みせ (北新町)
- 米谷 キワ (林町)
- 津田 いま (下鍛冶町)
- 徳田 イサ (蒔田)
- 津島辰五郎 (川端町)
- 伊藤 フテ (喜良市上派立)
- 小野 タミ (湯の川)
- 鎌田 稲辰 (新誠町)

(以上町顕彰も同時受賞)

町顕彰受賞者

90歳以上の長寿者

- 黒川 ふに (後町 98歳)
- 濱田 さき (嘉瀬下派立 97歳)
- 葛西 つよ (更生部落 97歳)
- 戸崎 チヨ (湯の川 97歳)
- 工藤福太郎 (湯の川 96歳)
- 泉谷ヒヤク (向道 96歳)
- 秋元 ハル (新富町 94歳)
- 澤田 ソノ (下昭和町 94歳)
- 加藤 ツヨ (若松町 94歳)
- 工藤喜代衛 (湯の川 94歳)
- 小山内晴夫 (美晴町 93歳)
- 藤元 スミ (三軒町 93歳)
- 徳田 ツセ (芦野町 93歳)
- 津島 サヨ (米町 93歳)
- 山中 ヤサ (下鍛冶町 93歳)
- 上森 マサ (昭和町 93歳)
- 秋元 ヤヨ (林下 92歳)
- 棟方ヤサコ (野崎 92歳)
- 石戸谷ヤス (神明町 92歳)
- 黒川 ソネ (野崎 92歳)
- 葛西 キワ (湯の川 92歳)
- 伊藤 ソ子 (中小栗崎 92歳)
- 高松 ちゑ (湯の川 91歳)
- 田中 ミキ (若松町 91歳)
- 原田 リヨ (上古町 91歳)
- 田中 きよ (南新町 91歳)
- 三上長太郎 (上小栗崎 91歳)
- 米塚 トミ (新富町 91歳)
- 阿部 定直 (芦野町 91歳)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 藤井 サコ (芦野団地90歳) | 松川 シワ (上小栗崎) |
| 藤元 トメ (田町90歳) | 角田 ヤナ (朝日町) |
| 秋元 ヨシ (湯の川90歳) | 棟方 いよ (湯の川) |
| 相坂 ハル (蒔田90歳) | 須崎 キヨ (後町) |
| 中村 光子 (東町90歳) | 金 三郎 (中山道町) |
| 川口 コト (蒔田90歳) | 徳田 タキ (川端町) |
| 85歳に達する長寿者 | 竹内 ヨソ (藤枝) |
| 工藤 みよ (北本町) | 須崎 ナカ (新誠町) |
| 田村 忠一 (新富町) | 仙場 ハナ (米町) |
| 成田 ミワ (三軒町) | 中川 キヨ (東岩見町) |
| 相川 トキエ (芦野町) | 小野 トミ (若松町) |
| 松川 ミ子 (下小栗崎) | 大橋 ちよ (米町) |
| 今 平農 (嘉瀬中派立) | 原田ウチヨ (上中柏木) |
| 山中 きわ (中小栗崎) | 80歳に達した長寿者夫婦 |
| 松川 イセ (中小栗崎) | 吉田 義勝 (蒔田) |
| 小笠原貞之助 (三軒町) | 夏坂 徳藏 (金木神明町) |
| 溜井要次郎 (上山道町) | 三泻千万次郎 (川倉上宇田野) |
| 吉田 トセ (蒔田) | 桑田長太郎 (喜良市上派立) |
| 川島 ヤエ (南新町) | 白川 ツサ (林下) |
| 藤本 さや (林町) | 徳田萬之丈 (金木川端町) |
| 白川 ツサ (林下) | 白川オリオ (沢部) |
| 米谷 つな (喜良市下派立) | 白川 マサ (沢部) |
| 桑田長太郎 (喜良市上派立) | 今 ヤエ (上昭和町) |
| 桑田 ヤサ (喜良市上派立) | 中山 ヤサ (東岩見町) |
| 村田 リヨ (浦町) | 三上 サナ (林町) |

敬老大会終了後にお亡くなりになった方々に対しましては、心からご冥福を申し上げます。

- | | |
|-----------------|----|
| 櫻庭 貞三 (喜良市南本町) | ナミ |
| 三泻千万次郎 (川倉上宇田野) | キワ |
| 夏坂 徳藏 (金木神明町) | よし |
| 桑田長太郎 (喜良市上派立) | さな |

笑い涙の 作文朗読

「元気なおじいちゃん
おばあちゃん」

金木小学校四年生
長内 美粧子



てにしゃべっていると、聞こわらって聞いてくれます。でも、おじいちゃんとはこのごろ、あまり話しをしていません。おじいちゃんは、む口だし、私と生活時間もちがうからです。小さい時は、とても、かわいがってもらったそうです。

私のおじいちゃんは七十才で、おばあちゃんは六十五才です。家では店をしています。おばあちゃんは、だいたい店にいます。おじいちゃんは、畑仕事です。私はおじいちゃんとおばあちゃんが話しをしている所はあまり見ないけど、そのよい二人だと思います。そのしょうくに、今も二人で野菜作りをしています。

うれしいのは、二人が元気なことです。おばあちゃんは、今も店にでているし、ひまを見つけて、二人とも野菜作りに一生けん命です。

ごろまでつけています。この前はナスのつけ物がおいしくて、私は、口の中がまっ黒になるくらい食べました。おじいちゃんが育てた野菜でおばあちゃんがつけたつけ物が家族のみんなは、大好きです。私は、おじいちゃんとおばあちゃんが、元気で長生きしてほしいです。

「私の祖母」
嘉瀬小学校五年生
今 歩 未



私の家には祖母がいます。祖母は七十才だけど、ものすごく元気で、働きものです。朝はいつも一番に起きて、二階の部屋のそうじをまっ先にしていきます。

みんなまで出かける時も、祖母が一人が残って、洗たくや夕飯の用意をしてくれます。それに、母がカゼなどで休んでいるときは、母のかわりに